



神奈川県

福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

令和5年度

神奈川県認知症施策活動事例集

～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

神奈川県

はじめに

超高齢社会が到来し、認知症の人の数の増加がさらに見込まれる中、令和6年1月に、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行されました。

この基本法は、認知症の人を含めた国民一人一人が、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある共生社会の実現を推進することを目的としています。

第9期の「かながわ高齢者保健福祉計画」（令和6年度～令和8年度）では、この基本法を踏まえ、認知症に関する正しい知識と、正しい理解を深め、共生社会の実現に向けた取組を進めていくことを目標としました。

本県では引き続き、誰もが認知症になりうることを意識し、認知症の人が自ら認知症理解のために発信する「本人発信」への支援など、誰もがともに生きる、共生の基盤のもと、認知症施策を進めていきます。

これまで県では、平成27年度から認知症地域支援推進員研修を開始するとともに、活動の参考としていただけるよう、県内市町村や県保健福祉事務所・センターにおける取組をまとめた事例集を作成してきました。

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月に感染症法上の位置づけが「5類」に変更されましたが、今回の事例集でも昨年度に引き続き、コロナ禍で工夫して取り組まれた事例などもまとめて掲載しております。

お忙しい中、原稿作成にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げますとともに、好事例等、実際の取組を参考にいただき、各地域で、共生社会の実現に向け、さらなる認知症施策の推進に活用していただきますようお願いいたします。

令和6年4月 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課

神奈川県認知症の人と
家族を支えるマークと
かながわキンタロウ



利用にあたって

- (1) 相談窓口等情報は、令和5年度に把握した情報をまとめたものです。
- (2) この事例集は、神奈川県高齢福祉課のホームページでダウンロードすることができます。
- (3) お気づきの点がありましたら、下記まで御連絡ください。

連絡先 〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1
神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ
電 話 045-210-4846 (直通)
メール anshinkaigo@pref.kanagawa.lg.jp

～目次～

| | |
|---------------------------|----------|
| はじめに | 1ページ |
| 利用にあたって | 2ページ |
| 目次 | 3ページ |
| 1 特集 | 4～9ページ |
| 2 各市町村における認知症の取組 | 10～50ページ |
| 3 各保健福祉事務所・センターにおける認知症の取組 | 51～55ページ |
| 4 認知症地域支援推進員研修及び県内配置状況 | 56～57ページ |

【巻末】

- お電話ください認知症のあれこれ
- もしかして若年性認知症?? 記憶に不安を感じたら

1 特集

県で実施している、認知症施策の取組について、ご紹介します。

- (1) かながわオレンジ大使について 5ページ
- (2) チームオレンジ・オレンジパートナーについて 6～8ページ
- (3) 認知症疾患医療センターについて 9ページ

その他の取組については、

「かながわ認知症ポータルサイト」

をご覧ください！



神奈川県認知症の人と
家族を支えるマークと
かながわキンタロウ



「かながわ認知症ポータルサイト」

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f6401/index.html>

(1) かながわオレンジ大使について

第2期「かながわオレンジ大使」(認知症本人大使)が活動しています！

多くの県民の皆様、認知症について理解していただくため、認知症の方ご本人が思いを直接伝え、その人らしい活動を発信する「かながわオレンジ大使」(認知症本人大使)を創設しています。今年度は、第2期として12名の方に委嘱しました。

市町村等からの依頼による講演活動や研修会の講師、認知症に関する会議への参加、テレビやラジオ出演、大使の作品展示等など、ご本人の希望や体調に合わせ、参加・協力が可能な方法で様々な発信を行っています。

かながわオレンジ大使
認知症と
ともに生きる

認知症について、当事者目線で理解していただくため、認知症の方ご本人が思いを伝え、その人らしい活動を発信します。

かながわオレンジ大使の新しい活動はこちら

認知症オレンジパートナーネットワーク 認知症の方へのさまざまな支援を推進していくための取組

神奈川県では、認知症サポーター等の個人の支援者、地域の支援団体、認知症カフェ等の活動拠点、企業や行政等が連携し、認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていくための支援を行う「認知症オレンジパートナーネットワーク」のウェブサイトを開発しています。詳しくはこちら

神奈川県 認知症オレンジ大使の紹介など 2598件 表示する件数はこちらから

かながわ認知症ポータル 検索



かながわオレンジ大使の活動の様子を発信中！



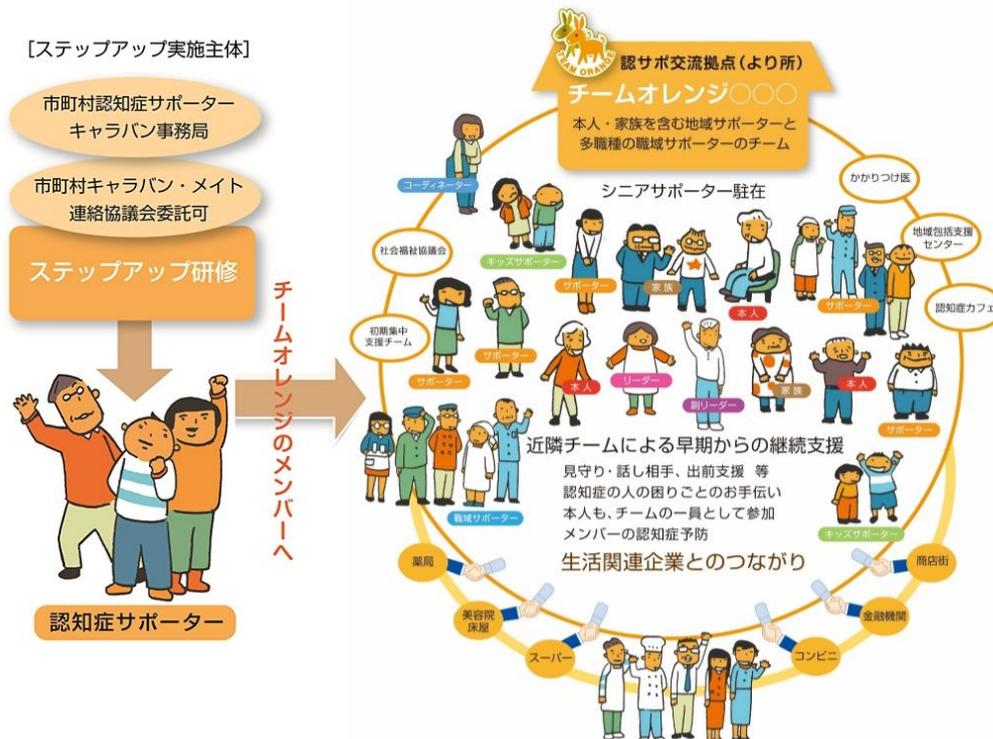
(2) チームオレンジ・オレンジパートナーについて

○チームオレンジについて

認知症サポーターから一歩進んで、それぞれの地域でボランティア活動を行うサポーターが誕生しています。

認知症の人や家族の支援ニーズと、こうした認知症サポーターを中心とした支援をつなぎ、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりの活動が「チームオレンジ」です。

令和5年12月1日現在の設置状況調査結果は、8ページ記載のとおりです。



(図) 認知症サポーターキャラバンホームページ「チームオレンジとは」

○オレンジパートナーとオレンジパートナーネットワーク

企業、行政、支援団体、個人の支援者等がネットワークを構築し、認知症の方やそのご家族を支援します。

認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイトを通じてご登録いただいた方を「オレンジパートナー」と呼んでいます。

令和5年3月にオレンジパートナーネットワークウェブサイトがリニューアルしましたので、ぜひご活用ください。



認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイト

<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1393/orangepartner/ind>



○令和5年度に実施した県の取組

・チームオレンジ市町村伴走支援

より市町村の状況に応じたチームオレンジの立ち上げを支援するため、アドバイザーやオレンジ・チューター、県が市町村とともに課題の解決策を検討し、チームオレンジの構築を支援する。令和5年度は、相模原市、開成町、湯河原町で実施。

・チームオレンジ意見交換会（令和5年9月8日（金）、オンライン）

チームオレンジ設置後の取組の活性化を図るとともに、他の市町村での支援方法を参考とし、チームオレンジ同士が様々な情報を交換することを目的に開催。

・チームオレンジシンポジウム（令和6年3月15日（金）、オンライン）

チームオレンジの市町村伴走支援による取組報告と、意見交換等を行うことで、県内のチームオレンジの取組を活性化することを目的に開催。

・オレンジパートナーネットワークウェブサイトの運営

令和4年度にリニューアル。個人の支援者と、ボランティア活動の場のマッチングを行うほか、認知症ご本人の新たな就労先や活動場所を探すことを目的に開設。

【（公社）認知症の人と家族の会 神奈川県支部に委託】

・オレンジパートナー等の活動支援

オレンジパートナー等の登録、支援団体の募集情報等の発信やマッチングなど活動を支援する。

・チームオレンジコーディネーター等研修（令和5年7月21日（金）、鎌倉芸術館）

チームオレンジの立ち上げや運営支援等を担うコーディネーター等を対象とする研修を実施することで、市町村におけるチームオレンジの整備を支援し、大綱に掲げる「共生」の地域づくりを推進する。

○チームオレンジ設置状況調査結果（令和5年12月1日時点）

| 市町村名 | チームオレンジ ①または②の 設置状況 | チームオレンジ① | | チームオレンジ② | | 未設置 |
|------|---------------------------|----------|---------------|----------|---------------|-----------------------|
| | | 設置数 | 設置時期 【県独自】 | 設置数 | 設置時期 【県独自】 | チームオレンジ① または②の設置予定 |
| 横浜市 | 設置済み | 10 | 令和4年度 | 19 | 令和4年度 | |
| 川崎市 | 設置済み | 4 | 令和4年度 | | | |
| 相模原市 | 未設置 | | | | | 令和6年度中 |
| 横須賀市 | 設置済み | 3 | 令和2年度 | | | |
| 平塚市 | 設置済み | | | 13 | 令和2年度 | |
| 鎌倉市 | 設置済み | 1 | 令和3年度 | 8 | 令和4年度 | |
| 藤沢市 | 設置済み | 1 | 令和3年度 | 2 | 令和3年度 | |
| 小田原市 | 未設置 | | | | | 令和6年度中 |
| 茅ヶ崎市 | 設置済み | 6 | 令和4年度 | 1 | 令和5年度 | |
| 逗子市 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 三浦市 | 設置済み | | | 1 | 令和4年度 | |
| 秦野市 | 設置済み | 7 | 令和元年度 | 7 | 令和2年度 | |
| 厚木市 | 設置済み | | | 5 | 令和4年度 | |
| 大和市 | 設置済み | 2 | 令和4年度 | 8 | 令和4年度 | |
| 伊勢原市 | 設置済み | | | 8 | 令和3年度 | |
| 海老名市 | 未設置 | | | | | 令和5年度中 |
| 座間市 | 未設置 | | | | | 令和5年度中 |
| 南足柄市 | 設置済み | 1 | 令和3年度 | | | |
| 綾瀬市 | 未設置 | | | | | 令和5年度中 |
| 葉山町 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 寒川町 | 設置済み | 1 | 令和4年度 | | | |
| 大磯町 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 二宮町 | 設置済み | | | 1 | 令和5年度 | 令和5年度中 【済】 |
| 中井町 | 未設置 | | | | | 令和6年度中を予定 |
| 大井町 | 設置済み | | | 1 | 令和4年度 | |
| 松田町 | 設置済み | 1 | 令和4年度 | | | |
| 山北町 | 設置済み | | | 1 | 令和4年度 | |
| 開成町 | 未設置 | | | | | 令和5年度中 |
| 箱根町 | 設置済み | | | 4 | 令和5年度 | |
| 真鶴町 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 湯河原町 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 愛川町 | 未設置 | | | | | 未定 |
| 清川村 | 設置済み | 11 | 令和4年度 | 5 | 令和4年度 | |
| 合計 | 20 | 48 | | 84 | | |

・チームオレンジ設置状況調査は、厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課の実施する「認知症総合支援事業等実施状況調べ」の内容に具独自質問を追加したものです。

・『チームオレンジ①』：コーディネーター研修テキスト「認知症サポーターチームオレンジ運営の手引き」で示されている「チームオレンジの三つの基本」（i. ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。ii. 認知症の人もチーム員の一人として参加している。（認知症の人の社会参加）iii. 認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる。）を満たすもの

・『チームオレンジ②』：3つの基本は満たさないものの、本人・家族のニーズとステップアップ講座を受講した認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みが構築されているもの

(3) 認知症疾患医療センターについて

○認知症疾患医療センターとは

認知症疾患医療センターとは、認知症における専門医療の提供や、医療と介護の連携の中核機関として、認知症疾患に係る鑑別診断、専門医療相談、人材育成のほか、医療・介護等の連携のため地域連携会議の設置運営などを行う医療機関です。

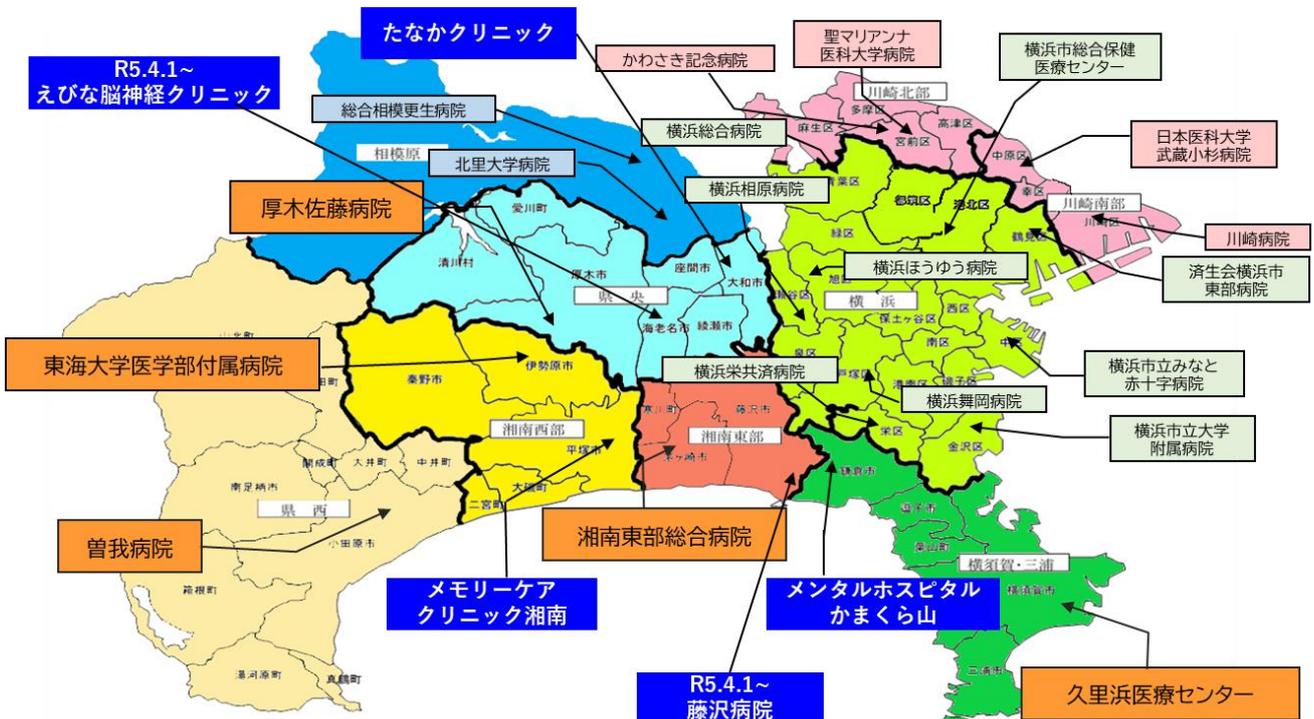
2次医療圏に1か所ずつ、計5か所設置している「地域拠点型」認知症疾患医療センターに加え、地域の認知症サポート医やかかりつけ医、医療・介護・保健関係機関との連携を強化するために「連携型」を設置しています。

県では認知症の早期発見・早期対応を一層進めるため、令和4年度より連携型の認知症疾患医療センターを設置しており、今年度さらに2か所設置しました。これにより、政令市が設置するものと併せて、県内25か所となりました。日常生活のちょっとした変化に気づいたら、お早めにご相談ください。

○神奈川県認知症疾患医療センター（10か所）設置状況

| | 年月 | 設置箇所 | 類型 |
|----|--------|---------------------------|-------|
| 1 | H22.1 | 東海大学医学部付属病院（湘南西部圏域） | 地域拠点型 |
| 2 | H24.1 | 国立病院機構久里浜医療センター（横須賀・三浦圏域） | 地域拠点型 |
| 3 | H26.7 | 曽我病院（県西圏域） | 地域拠点型 |
| 4 | H29.6 | 湘南東部総合病院（湘南東部圏域） | 地域拠点型 |
| 5 | H29.10 | 厚木佐藤病院（県央圏域） | 地域拠点型 |
| 6 | R4.4 | メモリーケアクリニック湘南（平塚市） | 連携型 |
| 7 | R4.4 | メンタルホスピタルかまくら山（鎌倉市） | 連携型 |
| 8 | R4.4 | たなかクリニック（大和市） | 連携型 |
| 9 | R5.4 | 藤沢病院（藤沢市） | 連携型 |
| 10 | R5.4 | えびな脳神経クリニック（海老名市） | 連携型 |

○県内の認知症疾患医療センター設置状況



2 各市町村における認知症の取組

神奈川県内 33 市町村では、地域特性に合わせて認知症についてさまざまな取組を実施しています。

次のページから各市町村の情報と取組や工夫等を掲載していますので、「推進員」の活動を展開していくための参考にしてください。担当課や連絡先も記載してありますので、「もっと知りたい！もっと聞きたい！」という場合は、アクセスしてみてください。

*市町村の順番は建制順になっています。

*以下のように省略して記載しています。

- 地域包括支援センター → 地域包括
- 認知症地域支援推進員 → 推進員
- 社会福祉協議会 → 社協
- 認知症キャラバン・メイト → メイト
- 認知症サポーター養成講座 → サポーター養成講座

| 市町村名 | ページ番号 | 市町村名 | ページ番号 |
|------|-------|------|-------|
| 横浜市 | 11 | 南足柄市 | 33 |
| 川崎市 | 12 | 綾瀬市 | 34 |
| 相模原市 | 13 | 葉山町 | 35 |
| 横須賀市 | 15 | 寒川町 | 36 |
| 平塚市 | 17 | 大磯町 | 37 |
| 鎌倉市 | 18 | 二宮町 | 38 |
| 藤沢市 | 19 | 中井町 | 40 |
| 小田原市 | 20 | 大井町 | 41 |
| 茅ヶ崎市 | 21 | 松田町 | 42 |
| 逗子市 | 22 | 山北町 | 43 |
| 三浦市 | 23 | 開成町 | 44 |
| 秦野市 | 24 | 箱根町 | 45 |
| 厚木市 | 25 | 真鶴町 | 46 |
| 大和市 | 27 | 湯河原町 | 47 |
| 伊勢原市 | 29 | 愛川町 | 49 |
| 海老名市 | 30 | 清川村 | 50 |
| 座間市 | 31 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 市町村名 | 横浜市 | |
| テーマ | 横浜市認知症施策推進計画 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年9月30日現在） | 3,754,747人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 936,823人（25.0%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 527,972人（56.4%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成24年度から 人数：1 職種：社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：18 設置場所：医療機関 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：横浜市版オレンジガイド 活用方法：区役所、地域ケアプラザ、認知症疾患医療センター等で配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成27年度から開設 カフェ数：114 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：講座等の開催、啓発、もの忘れ検診の実施等 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> 横浜市認知症施策検討会の開催：医療・福祉・保健・認知症当事者等からなる検討会の開催。 チームオレンジの取組推進：29か所の地域ケアプラザで実施する活動への支援。 認知症カフェ活動支援：運営者などに向けた研修会の開催や活動内容を紹介するリーフレットの作成。 若年性認知症に関する取組推進：若年性認知症支援コーディネーターと連携し、当事者への支援の実施。 ケアパスの普及啓発：内容を充実させた更新版ケアパスの関係機関等への配布や研修会での配布。 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> メイトを対象とした連絡会のオンラインによる開催 | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> 本市では、認知症カフェをはじめとした地域活動が盛んに行われているため、それらの地域活動を活かして取り組んでいる。 事業の開始にあたり、ステップアップ研修テキストと関係機関向けの手引きを作成。 令和4年度にチームオレンジをモデル実施した地域ケアプラザ（※横浜市独自施設）の事例報告会を開催。 令和4年度にチームオレンジをモデル実施した地域ケアプラザの事例について、事例集としてとりまとめ、市内関係機関に共有した。 各区でも、関係機関の集まる連絡会や会議等において、チームオレンジの事例報告等を実施し、取組を共有している。 | |
| 担当課名 | 高齢在宅支援課 電話：045-671-4129 | |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 市町村名 | 川崎市 | |
| テーマ | 認知症のひととみんながつながる取組み | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年10月1日現在） | 1,545,604人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 317,678人（20.6%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 175,760人（55.3%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 令和4年度から 人数：8 職種：介護福祉士・保健師・看護師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：7 設置場所：各区役所 高齢・障害課 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成25年度から実施（フォローアップ研修として実施） |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：認知症アクションガイドブック 活用方法：区役所、地域包括、認知症疾患医療センターなどで、認知症と診断された方や、そのご家族等を対象に配布。 |
| | 認知症カフェの開設 | カフェ数：93（平成27年から実態把握） |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：タブレットを使用したMCⅠスクリーニング事業 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー月間：共生と予防をテーマに「認知症っていろいろ～アルツハイマーデーinかわさき～」を開催。各区役所・図書館でパネル展示や認知症特集コーナーでの本紹介での普及啓発。 ・MCⅠスクリーニング事業「アタマとカラダの健康チャレンジ」を40か所で実施。 ・各区役所で、認知症当事者による講演会の実施。 ・推進員：認知症初期集中支援チームのチーム員として、対象者への後方支援（地域資源の情報提供） ・若年性認知症本人のつどい・家族のつどいの定例開催。 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインを活用した事業実施 認知症疾患医療センターによる専門職向け公開講座・若年性認知症家族の会 | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ研修や交流会を通じて、認知症サポーターの地域活動等への参加やチームオレンジにつながる活動への動機づけを行っている。 ・ステップアップ研修のオリジナルテキストを作成し、ステップアップ研修に活用するとともに、今後活動を予定している団体に対しての説明や研修などで活用している。 | |
| 担当課名 | 地域包括ケア推進室 電話：044-200-0207 | |

| | | |
|---------------------|--|---|
| 市町村名 | 相模原市 | |
| テーマ | 認知症とともに暮らせるまちづくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年10月1日現在） | 718,174人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 189,958人（26.5%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 106,256人（55.9%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 令和3年度から 人数：36 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任介護専門員、介護支援専門員、精神保健福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：行政 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：もの忘れ安心ガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用（令和4年度更新） |
| | 認知症カフェの開設 | 平成28年度から開設 カフェ数：28 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：介護予防教室 |
| チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和6年度設置予定） | |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症の有無にかかわらず、誰もが自身の生活習慣を見直すきっかけとなることを目的とするため、「もの忘れの進行を緩やかにするために」パンフレットを作成し様々な場面での配布を開始。 もの忘れ簡易スクリーニング機器を各地域包括（29箇所）に設置。上記と同様の目的のもと、各相談やイベント等で活用。 「缶バッチこい！」キャンペーンの実施。オレンジ色の写真を公募し、写真を缶バッジにしてプレゼントするもの。写真の応募がきっかけとなり認知症のことを知ってもらう普及啓発として実施。 アルツハイマー月間において各関係団体とオープニングセレモニーの開催や映画上映、パネル展示等。 広報さがみはら9月1日号で認知症に関する特集記事を掲載。各地域包括の推進員等から提供のあった活気のある写真を多く紹介した内容。 | |
| |   | |

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組</p> | <p>○オンラインによる実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座をはじめ、各研修の開催 ・認知症カフェ開催 ・各会議・打ち合わせ |
| <p>チームオレンジにおける工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度神奈川県チームオレンジの構築に向けた市町村伴走支援を受ける。 ・令和6年度設置予定 |
| <p>担当課名</p> | <p>在宅医療・介護連携支援センター 電話：042-769-9250</p> |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| 市町村名 | 横須賀市 | |
| テーマ | 地域で支え合い、住み慣れたまちで暮らせるために | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 384,663人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 124,907人（32.47%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 73,082人（58.50%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成26年度から 人数：1 職種：社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：4 設置場所：認知症疾患医療センター、医療機関、市役所 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和元年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：横須賀にこっとパス 活用方法：医療機関や民生委員などに配布、行政窓口などで配架 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成27年度から開設 カフェ数：19（直営なし） |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知症予防教室、脳の健康度チェック（ファイブコグ検査） |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和2年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <p>(1) 認知症予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 早期発見の取り組み 脳の健康度チェック（ファイブコグ検査）の実施 ② 認知症予防の取り組み 認知症予防教室の開催 <p>(2) 認知症高齢者・介護者の支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 認知症初期集中支援事業の実施 ② 横須賀にこっとSOSネットワークの周知 ③ 認知症の各種相談・支援の実施 認知症相談窓口の設置、認知症ケアパス（横須賀にこっとパス）や認知症お役立ちBOOKの発行、専門医によるもの忘れ相談の実施、認知症高齢者介護者のつどいの開催、多職種連携セミナーの開催 <p>(3) 認知症共生社会に向けた地域づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サポーター養成講座の開催 ② オレンジパートナー（ステップアップ研修）養成講座の開催 ③ チームオレンジの構築 ④ 認知症カフェの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェへの定期的な訪問による状況把握や課題への支援 ・ 認知症カフェ連絡会の開催 ⑤ 「よこすかオレンジLINE」を活用した地域づくり（認知症行方不明者捜索、認知症コラム配信等） | |

| | |
|------------------------------------|--|
| | <p>⑥アルツハイマー月間行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別講座「認知症とともに生きる」の開催 ・ よこすか近代遺産ミュージアム ティボディエ邸におけるオレンジライトアップの実施 ・ パネル展「認知症フレンドリーin よこすか～理解と応援の気持ちをオレンジで表そう～」の実施 ・ アルツハイマー月間啓発ちらしの作成、市内各所での掲示や配架 ・ 明治安田生命こころの健康財団との共催による YouTube セミナーの配信 <p>⑦RUN 伴十三浦半島 2023 への支援</p> <p>(4)若年性認知症の支援、社会参加支援</p> <ol style="list-style-type: none"> ①若年性認知症の理解のための啓発 ②本人発信の支援 ③若年性認知症支援コーディネーターとの連携 ④若年性認知症のつどいの開催 |
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症初期集中支援において、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置など状況により、「集合」と「リモート」を使い分けた会議を実施し、支援が途切れないよう工夫した。 ・ サポーター養成講座、介護者のつどいなどで、予約制により会場の収容人数制限や検温、手指消毒の徹底を行った。 |
| <p>チームオレンジにおける工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ チームオレンジという名称が生まれる前から、既に認知症の方やその家族を地域で支援するチームがあったが、その自主性を大切にするため、あくまでも市は、ファシリテーターとしての繋ぎ役や調整役に徹し、活動の把握や助言を行っている。 |
| <p>担当課名</p> | <p>福祉総務課 電話：046-822-9804</p> |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 市町村名 | 平塚市 | |
| テーマ | 推進員中心に認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして事業展開 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 257,056人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 73,932人（28.76%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 41,033人（55.5%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：1 平成28年度から 人数：13人（計：14人） 職種：保健師、看護師、社会福祉士、介護福祉士、主任ケアマネ |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：市内医療機関 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成27年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成（毎年更新） 名称：知って安心ひらつか認知症ガイド 活用方法：相談業務や市民向けの教室、ステップアップ研修等 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：13 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：市民向けに認知症予防教室（コグニサイズを含む運動） 脳とからだの体操リーダー養成講座を実施 物忘れ相談プログラムを活用し脳いきいき講座につなぐ |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和2年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、ステップアップ講座 ・脳とからだの体操リーダー養成講座 ・物忘れ相談プログラムを実施しMCⅠの方に脳いきいき講座（フォローアップ講座）を勧める ・認知症カフェ、認知症カフェ団体交流会 ・VR認知症体験会 ・市民公開講座 ・パネル展（年2回）、駅前広場噴水ライトアップ、街頭にてチラシの配布等 ・認知症に関する図書コーナー期間限定設置、ブックリストの作成と配布 ・認知症の本人と家族の一体的支援プログラムの推進 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策を行い、密にならないように人数を制限して、各教室やサロンなどを開催した。 ・屋外で行う活動を実施（農園カフェ、青空コグニサイズ） ・自宅でできるコグニサイズの普及（DVD作成、YouTube配信） | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域にある既存の社会資源を活用している。 ・すでに活動している運営者やボランティアの人たちに、ステップアップ研修を勧める。 ・ステップアップ研修は、市と推進員でカリキュラムを企画し、各地域包括が同じ内容で実施する。 ・すでに地域で活動している方と推進員が情報交換を密にしている。 | |
| 担当課名 | 高齢福祉課 電話：0463-21-9621 | |

| | | |
|---|--|---|
| 市町村名 | 鎌倉市 | |
| テーマ | 認知症にやさしい地域社会をめざして | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年10月1日現在） | 175,953人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 53,336人（30.31%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 33,050人（61.97%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から 人数：10 職種：保健師・看護師、社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：10 設置場所：市内地域包括10か所 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和3年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成元年度作成 名称：認知症サポートガイド（R4.10改訂） 活用方法：サポーター養成講座、店舗、郵便局、薬局等で配架 |
| | 認知症カフェの開設 | カフェ数：8 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：普及啓発、出前健康教育や介護予防教室で運動や脳トレを実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和3年度から） ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有・連携の構築 ・認知症アルツハイマー月間における普及啓発 ・サポーター養成講座の実施 ・ステップアップ講座の実施 ・初期集中支援推進事業 | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・かつては、三浦半島でリレーを実施していたが、コロナ禍を踏まえて、三浦半島でオレンジ色（バングナ等）を身につける取組みを行った。 | |
| チームオレンジ における工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する地域で活動している団体同士、顔合わせ会を実施。 ・ステップアップ講座では、認知症に関する団体について、広く市民に知ってもらえる機会を設け、認知症の人や家族に対し、オレンジサポーターが具体的な支援を行いやすいよう工夫をしている。 | |
| 担当課名 | 介護保険課（市民健康課） 電話：0467-61-3977 | |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 市町村名 | 藤沢市 | |
| テーマ | 認知症になっても安心して暮らせるまちふじさわ | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 445,140人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 109,141人（24.52%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 63,051人（57.77%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士・介護福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：3 設置場所：藤沢市高齢者支援課 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成27年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック 活用方法：医療機関・歯科医院・薬局・図書館等へ配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和・平成29年度から開設 カフェ数：15 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知症予防教室 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和3年度から） ②設置済み（令和3年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <p>①認知症普及啓発「おれんじキャンペーンふじさわ2023」の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かながわオレンジ大使による講演会とパネルディスカッション ・パネル展 ・ブックフェア（書店、図書館） ・江の島シーキャンドルライトアップ 等 ・イトーヨーカドー湘南台店での相談会開催 <p>②認知症本人交流会・家族のつどい開催（年4回）</p> <p>③地域の協議体での認知症に関する講習会とグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片瀬地区・湘南台地区・御所見地区 <p>④認知症カフェの新規オープン支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフへのサポーター養成講座 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | | |
| チームオレンジにおける工夫 | ・サポーター養成講座の上級講座を開催し、チームオレンジ活動推進に関する情報共有を行った。 | |
| 担当課名 | 高齢者支援課 電話：0466-50-3523 | |



パネル展

書店ブックフェア



認サポ講座



認知症カフェ

| | | |
|---|--|--|
| 市町村名 | 小田原市 | |
| テーマ | メイトを中心とした認知症カフェの取組 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年11月30日現在） | 187,006人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 57,546人（30.7%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 32,352人（56.2%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士、保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：12 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成25年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成30年度作成 名称：にんちしょうケアパスおだわら 活用方法：サポーター養成講座で配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和2年度から開設 カフェ数：6 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：短期集中事業の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和6年度設置予定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、フォロー研修 ・アルツハイマー月間、小田原城のライトアップ ・認知症をにんちしょう会での認知症フォーラム ・にんちしょうケアパスおだわら ・認知症初期集中支援事業 ・おだわら・はこね家族会 ・メイト連絡会 ・認知症カフェの支援 ・SOS ネットワーク ・一市三町若年性認知症を考える会 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・一市三町若年性認知症を考える会では、フレンドシップカフェを感染対策に気を付けながら対面開催を行った。 ・zoomによるメイト連絡会の開催。 | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座終了後のフォロー研修を行った。 ・チームオレンジの活動拠点となる認知症カフェ開設の支援や運営の補助を行った。 | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：0465-33-1864 | |

| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| 市町村名 | 茅ヶ崎市 | |
| テーマ | 推進員の周知と地域へのチームオレンジの展開 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 247,660人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 66,059人（26.67%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 38,096人（57.67%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から配置 人数：16 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：市 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成23年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：茅ヶ崎市認知症あんしんガイド 活用方法：関係機関、公共施設への配架による周知、サポーター養成講座時配布、窓口相談での活用等 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成27年度から開設 カフェ数：9 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：コグニサイズ教室の実施 |
| チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） ②設置済み（令和5年度から） | |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・推進員の連絡会を設け、市と地域包括が情報交換できる場づくりを行っている。 ・認知症の普及・啓発のために年1回「ちがさきオレンジ Day」を開催している。 ・令和5年6、7月に各地域の民生委員児童委員協議会にて推進員の活動について説明を実施した。 | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組 | 特になし | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ講座開催時、地域包括と講座受講者の顔合わせができるようにグループワークを設けている。 ・ステップアップ講座をとおして参加者がチームオレンジの活動をイメージしやすいよう、すでに活動しているチームオレンジメンバーから活動紹介していただく時間を設けている。 ・チームオレンジメンバーの活動の場のひとつとして、ちがさきオレンジ Day の運営等に協力していただいている。 ・ステップアップ講座受講者を対象としてフォローアップ研修を実施している。 | |
| 担当課名 | 高齢福祉課 電話：0467-81-7163（直通） | |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 市町村名 | 逗子市 | |
| テーマ | 認知症になっても本人意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための支援体制を構築 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 58,521人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 18,342人（31.34%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 11,385人（62.07%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成26年度から 人数：3 職種：看護師・保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：市役所 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和元年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和元年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：各地域包括、相談事業等で活用、市内医療機関への配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成28年度から開設 カフェ数：2 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：カフェ開催・相談・サポーター養成講座・初期集中参加 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（設置予定 未定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ開催 ・家族のための物忘れ相談 ・認知症予防講座 ・サポーター養成講座・ステップアップ講座開催 ・地区活動等での認知症に関する講座・コグニサイズ指導 等 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・カフェのリモート開催 | |
| チームオレンジにおける工夫 | | |
| 担当課名 | 社会福祉課 電話：046-873-1111(内)214 | |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 市町村名 | 三浦市 | |
| テーマ | 高齢者が多い市だからこそ頑張りたい認知症施策 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 40,679人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 16,520人（40.6%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 9,540人（57.7%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：2 職種：社会福祉士、介護支援専門員 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：市 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成30年度作成 名称：三浦市認知症ガイド 活用方法：認知症の相談窓口や専門の医療機関等を紹介する際に活用している。 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和元年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：サロンにおけるコグニサイズや講話 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症等行方不明高齢者 SOS ネットワーク事業を市ホームページや介護事業所等に周知し、登録者には見守りシールを配布している。 ・認知症ケアパスを市内各医療機関や公共施設等に配架し、認知症の相談窓口や認知症の症状に沿ったサービス等を分かるようにしている。 ・推進員が認知症初期集中支援チームの対象者を見つけ、チームの支援に繋げている。 ・推進員が中心となり、サポーター養成講座を開催している。 ・認知症のママが営んでいる喫茶店で毎月認知症カフェを開催し、ママが淹れる本格コーヒーを飲みながら、ピアノ演奏を聴いたり、ママとの会話を楽しむなど地域の交流の場となっている。 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | | |
| チームオレンジにおける工夫 | | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：046-882-1111（内線352） | |

| | | |
|---|--|---|
| 市町村名 | 秦野市 | |
| テーマ | みんなで作る 認知症になってもやさしいまち 秦野 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 159,262人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 49,766人（31.2%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 27,132人（54.5%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：9 職種：保健師、看護師、社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：直営 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成29年度から実施（予定） |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：そなえてあんしん！秦野市認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：相談時に使用、窓口配下、講座やイベント、イオン秦野店での展示時に配布、ダイジェスト版を作成し、市内の商店等に配置。 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成27年度から開設 カフェ数：20 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：「教えて先生！認知症予防」（専門医による講演）、脳の健康教室（KUMON 学習療法）、「広畑エンジョイカレッジ（月曜：コグニサイズ、金曜：脳トレ）」、サロンにおけるコグニサイズや講話 |
| チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和元年度から） ②設置済み（令和2年度から） | |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・推進員研究会等を定期開催し、活動を推進に向けて認知症施策に関するめざす姿や課題を検討した。 ・サポーター養成講座の開催とステップアップ講座の実施。メイトの活動支援。 ・認知症カフェ、介護者のつどいの活動支援。 ・認知症月間で秦野市まほろば大橋時計塔のライトアップや医療機関や図書館などでのブースの設置や駅頭キャンペーンの実施。 ・イオン秦野店と連携し、「認知症とフレイル予防」をテーマにした展示などの実施。 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に配慮し、事業を継続実施した。 | |
| チームオレンジ における工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジにつなげていくために、毎月開催している推進員研究会に推進員だけでなく、ボランティア団体にも参加を依頼し、認知症に対する取り組みを共有した。 | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：0463-82-7394 | |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| 市町村名 | 厚木市 | |
| テーマ | 認知症になっても安心して暮らせるまちへ | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 223,982人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 58,912人（26.3%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 32,172人（54.6%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：14 職種：看護師・保健師・介護支援専門員・社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：医療法人社団 青木末次郎記念会 相州病院 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和元年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：厚木市簡易版認知症ケアパス 令和5年度作成 名称：厚木市認知症ケアパス 活用方法：認知症関連事業等で配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和元年度から開設 カフェ数：9 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：物忘れ予防教室の実施、コグニサイズの紹介 DVDの貸出 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <p>【あつぎオレンジ♡フェスタ 2023】</p> <ul style="list-style-type: none"> 啓発活動（啓発物品を街頭で配布） ・ 認知症予防ランチの提供 プロジェクションマッピングの実施（啓発イベントの周知） ・ アミューあつぎライトアップ パネル展示（本人大使の活動、行政サービス、家族会などを紹介） 「ATSUGI」モニュメントライトアップ ・ 認知症関連図書展示（認知症に関する本や資料の展示） デジタルサイネージによる周知 ・ サポーター養成講座の実施 認知症 VR 体験会 ・ 講演会・パネルディスカッション「広げよう 認知症理解の輪」 「笑いの体操」講座実施 ・ 管理栄養士による食生活セミナー実施 咀嚼機能測定会実施 ・ 認知症関連動画上映 RUN 伴+に参加 ・ アミューあつぎオープンラウンジでの認知症関連資料展示 情報紙（市内全戸配布）による周知 <p>【認知症サポーターステップアップ講座の実施】</p> <p>【小学生向け認知症 VR 体験会の実施】</p> <p>【地域住民向け認知症 VR 体験会の実施】</p> <p>【認知症初期集中支援チームと推進員との意見交換会の実施】</p> <p>認知症対応困難ケースについて、情報を共有し、解決に向けて意見交換を実施した。</p> <p>【あつぎオレンジサポート企業・団体認証制度の実施】</p> <p>認知症の方とその家族に優しく、認知症の方を地域で見守り・支える活動に参加する企業や団体を認証</p> <p>【医療・介護関係者向けに認知症のシリーズ研修会を実施】</p> | |

| | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | ・普及啓発イベントでアルコール消毒液を設置した。 |
| チームオレンジにおける工夫 | ・活動を情報紙（市内全戸配布）で周知している。 |
| 担当課名 | 地域包括ケア推進課 電話：046-225-2047 |

| | | |
|---------------------------------|--|--|
| 市町村名 | 大和市 | |
| テーマ | 認知症とともに歩むまちやまと | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 244,766人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 58,432人（23.9%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 33,003人（56.5%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：15 職種：保健師、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員等 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：市役所 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成29年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：認知症になっても安心やまと 活用方法：相談窓口、事業周知等で活用、公共施設等で配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成27年度から開設 カフェ数：13 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：タブレット端末を用いた認知機能検査、コグニサイズ教室、コグニサイズセミナー、コグニバイクの設置等 |
| チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） ②設置済み（令和4年度から） | |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <p>・認知症の理解促進、普及啓発、本人発信、参画 認知症シンポジウム（当事者登壇、作品展等）、 認知症世界の歩き方 for サポーターズ（サポーター養成講座）、 わすれな草の会の活動（若年性認知症当事者、家族の会）、 チームオレンジ研修、多職種協働研修</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> | |

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 教室開催時等に体調確認。 |
| <p>チームオレンジにおける工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 昨年度実施したステップアップ講座の内容を地域包括職員と見直し、認知症の人の「困りごと」に寄り添うばかりではなく、「やりたい」「続けたい」「はじめたい」等の希望に寄り添う活動を進めていくために何が出来るかグループワークを行い、優しい気持ちとちょっとした工夫が大切であることを学ぶ研修を実施した。 • 研修前に従事者でグループワークでのファシリテーターの役割を確認した。 • 活動事例を取材し、チームオレンジ活動の手引きを作成。 |
| <p>担当課名</p> | <p>人生 100 年推進課 電話：046-260-5612</p> |

| | | |
|---|---|---|
| 市町村名 | 伊勢原市 | |
| テーマ | アルツハイマー月間における認知症普及啓発の取組み | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 100,177人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 26,865人（26.8%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 15,111人（56.2%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：6 職種：保健師、看護師 |
| | 愛川町 | チーム数：1チーム 設置場所：医療機関 |
| | | 令和2年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：知ってあんしん認知症ガイドブック 活用方法：市や地域包括等における相談時や、認知症に関する講座等での配布、医療機関等への配架、地域住民への随時配布、市HPでの公開など |
| | 認知症カフェの開設 | 平成29年度から開設 カフェ数：7 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：コグニサイズの普及、通所型サービスCにおける認知症予防プログラム、及びタブレット端末を活用した認知機能検査などを実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和3年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <p>○アルツハイマーデー普及啓発イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、当市初の認知症関連事業の合同イベント「第1回いせはらオレンジフェスタ」を開催した。 ・本人同士が意見を出し合える場を提供する目的で、上記イベントで本人同士の交流会を行った。 ・認知症のVR体験や認知症講話などを実施した。 ・市内の地域包括全域で、オレンジライトアップを実施した。 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体のオレンジカフェで、ZOOMを使用したオンラインのオレンジカフェを実施した。 | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存の団体に働きかけ、すでに実施していることがチームオレンジの活動に繋がっていることを説明し、活動のハードルが上がらないよう工夫した。 ・できることをできる範囲で行うことを前提に、メンバーに働きかけた。 | |
| 担当課名 | 介護高齢課 電話：0463-94-4725 | |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 市町村名 | 海老名市 | |
| テーマ | 認知症の人や家族に優しいまち「えびな」 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 140,189人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 34,474人（24.6%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 19,162人（55.6%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成28年度から 人数：9 職種：保健師・看護師・社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：えびな在宅医療相談室 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和元年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：優しいまち「えびな」認知症ケアパス 活用方法：市、地域包括等や認知症関連事業で配布。 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成28年度から開設 カフェ数：5 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：普及啓発（サポーター養成講座等） |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和5年度設置予定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・推進員会議の開催（月1回） ・認知症初期集中支援チーム（チーム員会議年4回開催） ・認知症の正しい理解と普及啓発活動 アルツハイマーデーのイベント実施（講演会（講師 NPO法人 ひまわりの会理事長）、図書フェア（図書館と書店）、認知症予防ランチ（市内12飲食店）、ショーウィンドー展、海老名駅間デジタルサイネージ、パネル展、ケアパスの配布等 ・サポーター養成講座とステップアップ講座の実施 | |
| |  <p>図書フェア</p> | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を徹底し、認知症カフェ、サポーター養成講座、ステップアップ講座、認知症予防講演会を開催 ・市ホームページにコグニサイズや自宅のできる介護予防等の動画、お役立ち情報などを掲載 | |
| |  <p>認知症講演会</p> | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・通いの場等で「認知症の人が通いやすい」「認知症になっても通うことができる」チームオレンジを設置予定。 ・令和3年度から、推進員会議にて、チームオレンジ設置に向けて話し合いを重ねてきた。当事者、生活支援コーディネーター、地域包括職員、サロン等運営者・参加者、ステップアップ講座受講生等を巻き込んで立ち上げを予定している。 | |
| 担当課名 | 地域包括ケア推進課 電話：046-235-4950 | |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 市町村名 | 座間市 | |
| テーマ | 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 131,913人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 34,561人（26.2%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 19,188人（55.6%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：20 職種：保健師、看護師、社会福祉士、一般職 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：座間市相模が丘地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和5年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：座間市認知症ケアパス 活用方法：個別相談時の利用、認知症関連講座・イベントでの配布、関連団体への配付、HP掲載 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成28年度から開設 カフェ数：6 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：講演会、認知症予防教室（ファイブ・コグ実施）、その他介護予防教室でコグニサイズ等実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和5年度設置予定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・推進員連絡会の開催（偶数月）： チーム員も参加し、各推進員の活動報告や今後の方針について情報共有や意見交換を実施した。オレンジパートナーの参加も募り、意見を取り入れられる機会とした。 ・アルツハイマーデーイベント： 市及び地域包括を中心に、ショッピングモールや駅、商店街等の協力も得ながら実施した。 ・サポーター養成講座： 市民向けその他、子ども向け、職域向けにも実施した。講座後に座談会を設け、介護者支援及び本人発信の機会とした。 ・認知症カフェの増設： 市内にある全国チェーンのカフェや、高齢化が進む団地の集会所等方法を工夫して様々な目的のカフェが増設できた。 ・オレンジパートナーとの協働： 上記内容を市内オレンジパートナーの活動の場とした。 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・規制が緩和、撤廃されたため、個人的な感染対策の以外は、ほぼ感染症拡大前に戻して実施した。 | |

| | |
|----------------------|---|
| <p>チームオレンジにおける工夫</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度中の設置に向けて、市内のモデルとなる地域包括を選定し、推進員と共に打合せを実施している。 ・構成メンバーとして、既存の社会資源（オレンジパートナー、地区社協、民生委員等）を活用し、地域全体を巻き込むことを目指して検討を進めている。 ・モデル以外の地域に差が出ないように、推進員連絡会等で他の地域包括と情報共有している。 |
| <p>担当課名</p> | <p>長寿支援課 電話：046-252-7084</p> |

| | | |
|-------------------------------------|--|--|
| 市町村名 | 南足柄市 | |
| テーマ | 新たな地域での認知症カフェの立ち上げ | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 40,679人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 13,683人（33.64%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 7,976人（58.29%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：13（委託包括含む） 職種：主任介護支援専門員、保健師、看護師、社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：直営基幹型地域包括内 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和3年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：南足柄市認知症ケアパス 活用方法：市ホームページに掲載 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成28年度から開設 カフェ数：3 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：健康づくり課主催で認知症予防教室を開催、 介護予防サポーターが地域で脳トレ教室を開催 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和3年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・当市では認知症地域支援アクションミーティングを実施している。参加者は①認知症カフェ、②農園活動、③認知症支援マップの作成、④講演会の企画運営の4チームに分かれ、活動を行っている。それぞれのチームにはオレンジパートナー、医療福祉の関係者、民生委員などが参加しており、推進員が中心となって活動を行っている。このアクションミーティングの活動がチームオレンジの活動になっている。アクションミーティングの他、認知症家族のつどいやもの忘れ相談会、認知症初期集中支援チーム等の認知症事業を行っている。 | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェでは、感染症対策のためお菓子を持ち帰りにしていた。持ち帰りが難しいカフェでは、飲食の時間は黙食でお願いした。新型コロナウイルス感染症が5類に変更されてからは、マスクの着用と入口での検温を行った上で通常通り飲食している。 | |
| チームオレンジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・市内老人保健施設主催の認知症カフェが新たにスタートした。会場は地区の公民館に設定し、自治会の協力を得ながら実施している。これまで認知症カフェが開催できていなかった地域で実施することになったため、地元住民が集う場となるよう周知を行っている。オレンジパートナーが地域の人に声を掛けてくれるので、新規の参加者が少しずつ増えている。 | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：0465-74-3196 | |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 市町村名 | 綾瀬市 | |
| テーマ | チームオレンジの設置開始に向けた取組 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 84,158人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 22,890人（27.2%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 13,490人（59.0%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成30年度から 人数：5 職種：介護福祉士、社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：直営 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和2年度作成 名称：認知症ケアパス 活用方法：あやせいきいき健康だより、ホームページに掲載 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：4 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：コグニバイク講習会の実施、利用 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和5年度設置予定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する相談支援 ・「あったか訪問」として75歳以上の独居高齢者に訪問活動 ・認知症サポーターステップアップ講座にVR体験を含む内容で実施 ・令和5年度は初めて小中学生対象に職業体験を実施している「ミニあやせ」に参加、認知症の方への声かけ体験を実施 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・あったか訪問活動において、対面に消極的な状況だったため、認知症含め介護予防に資するパンフレットのポスティングで情報提供を行った。 | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェを開催しているので、参加者に趣旨説明しチームオレンジの機能を持たせることで開催を目指している。 | |
| 担当課名 | 地域包括ケア推進課 電話：0467-77-1116 | |

| | | |
|---|---|--|
| 市町村名 | 葉山町 | |
| テーマ | 認知症になっても安心して暮らせるまちをつくる | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年11月1日現在） | 32,283人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 10,137人（31.3%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 6,321人（62.4%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成28年度から 人数：8 職種：介護支援専門員、社会福祉士、看護師、保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：町役場 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成30年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和元年度作成 名称：知ってあんしん 認知症ガイドブック（認知症ケアパス） 活用方法：相談初期の相談時、窓口や訪問にて活用。 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：2 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：コグニサイズ教室の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（設置予定 未定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | ・アルツハイマー月間にあわせ、9月の1週間、認知症に関するパネル展示を役場ホールにて実施。 | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | | |
| 担当課名 | 福祉課 電話：046-876-1111（内238） | |

| | | |
|---|---|--|
| 市町村名 | 寒川町 | |
| テーマ | 認知症患者等への手厚い個別支援と地域支援体制の構築で認知症になっても安心して過ごせる町へ | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 49,127人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 13,526人（27.5%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 7,334人（54.2%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から 人数：1 職種：社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：町 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成30年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成27年度作成 名称：高齢者ガイド 活用方法：町内の公共施設・医療機関等に配架、ホームページへの掲載 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成29年度から開設 カフェ数：3 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：介護予防教室等の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援事業 町と推進員が一体となって年間100回以上の訪問を行い、毎月1回チーム員会議を実施している。支援人数は年々増加しており、令和4年度は34名にのぼった。 認知症啓発イベントの開催 町内の団体と共催し、アルツハイマー月間に認知症啓発イベントを開催した。音楽の演奏や認知症疾患医療センター長による講演、手芸や飲食ブースの出店等楽しみながら認知症について知れる場となるよう工夫した。 | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> お茶やお菓子などを提供していた認知症カフェを、新型コロナウイルス感染拡大後はペットボトルによるお茶の提供及びお菓子を持ち帰り（お土産）形式に変更して、継続的に運営を行った。 | |
| チームオレンジ における工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> 人口が少なくコンパクトな当町の特徴を生かし、町全体で1つのチームオレンジを設置することとし、メンバーの登録や管理は町が主体となって行っている。 現在は意欲の高いメンバーにチームオレンジの活動の場やイベント等を企画してもらい、町は登録者全員にその周知等を行うかたちでチームの活性化を図っている。 | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：0467-74-1111（代表） | |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| 市町村名 | 大磯町 | |
| テーマ | 認知症を知り、身近に感じてもらえるまちづくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 32,068人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 11,126人（34.6%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 6,527人（58.6%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成30年度から 人数：2 職種：社会福祉法人、保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：西部地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和2年度作成 名称：認知症ガイドブック（大磯町認知症ケアパス） 活用方法：窓口配布、サポーター養成講座にて配布（中学校） |
| | 認知症カフェの開設 | カフェ数：0 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：スクエアステップのひろば、予防教室 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（設置予定 未定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館に協力依頼し認知症コーナーを設置。9月の1か月間、図書館に認知症や介護に関する本と普及啓発の冊子やチラシを設置し、来館した多くの方に手に取ってもらえた。 ・認知症に関するチラシや冊子をまとめたミニコーナーを設置。（保健センター内） ・サポーター養成講座の実施。（金融機関） | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・ケアパスの見直し 普及啓発に関するツール不足の課題があり、既存のケアパスを見直しガイドブックを令和2年度に作成。 | |
| チームオレンジにおける工夫 | | |
| 担当課名 | 福祉課 電話：0463-61-4100 | |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 市町村名 | 二宮町 | |
| テーマ | 自立で安心、地域でいきいきとふれあうまちづくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 27,764人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 9,861人（35.5%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 6,010人（60.9%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から 人数：1 職種：社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：二宮町役場 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成30年度作成 名称：二宮町認知症ケアパス～認知症とともに暮らす道しるべ～ 活用方法：高齢者や介護者、関係機関へ配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：2 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：地域の通いの場で講座の実施等 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和5年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <p>○認知症に関する正しい知識の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の授業の一環として町内の中学校で、また新採用職員研修等でサポーター養成講座を実施 世界アルツハイマー月間中に、さとうみきさん・オレンジ大使/望月省吾さん講演会「ひと足先に認知症になったわたしからのメッセージ」を開催 世界アルツハイマー月間に役場ロビーで展示、図書館特設コーナーの設置 認知症の予防（地域の通いの場で継続的な認知症予防の取組みを実施） <p>○相談・支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報やホームページを通じて相談窓口の周知 あんしんガイドブックの更新 にのになカフェ（認知症カフェ）、認知症サポーターのつどいを定期的実施 認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症講演会等における本人ミーティングの開催 物忘れ相談シートの作成、活用 認知症等行方不明 SOS ネットワーク（見守りキーホルダー）の周知 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> にのになカフェはオンラインでの参加を可能、また、対面は事前申し込み制とし、開催を継続。 | |



© 認知症サポーター/二宮町

| | |
|-----------------------|--------------------------------|
| チームオレン ジにおける工 夫 | ・これまでの取り組みがそのまま活かせるようなチーム作りを行う |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：0463-75-9542 |

| | | |
|---|--|--|
| 市町村名 | 中井町 | |
| テーマ | 認知症に係る取組の継続と、地域で見守り・支え合いができる体制づくり | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 8,946人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 3,229人（36.09%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 1,761人（54.54%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から 人数：1 職種：介護福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：中井町（保健福祉センター） |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成30年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：相談、地域の集まりでの啓発等に使用 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：和太鼓フィットネス（コグニサイズ事業）、 地域の活動（体操教室やサロン等）での講話・啓発等の 実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和6年度設置予定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ事業 今年度年間12回のカフェを企画・実施中。参加者同士が共有できる時間を持つほかに、講師によるヨガやコグニサイズの指導、口腔機能の講話等を実施した。 サポーター養成講座、アルツハイマーデー・月間における啓発活動の継続 前年に続き、町消防団、小学校、一般町民、町職員を対象に講座を開催。また、図書館との連携事業として認知症関連書籍等の展示コーナーを、アルツハイマーデー・月間に併せ設置し、広く住民向け周知を行った。 高齢者見守りネットワークの開始 地域で生活する高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活が出来るよう、周囲の人たちによる見守り・声掛けを図るべく、今年度より標記事業の開始に至った。 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | 前年度までと比較し、参加規模の制限を緩和しつつ、感染予防に留意した中で各事業を実施。 | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | チームオレンジについては設置に向けた調整を行っており、引き続きスケジュール調整等推進員、地域包括等関係者との協議を進めていく。 | |
| 担当課名 | 健康課 電話：0465-81-5546 | |



| | | |
|---|---|--|
| 市町村名 | 大井町 | |
| テーマ | 認知症カフェが地域の憩いの場に | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 17,321人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 4,997人（28.85%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 2,809人（56.21%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成25年度から 人数：2 職種：保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：2 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成28年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和元年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：希望者に配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：おーい！元気会にてコグニサイズの実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・2009年、サポーター養成講座開始。 ・2011年、認知症家族のつどい発足（1回/2ヶ月開催）。 ・2013年、推進員配置。 ・2016年、認知症サポーターステップアップ講座開始。 ・2018年、町民と協働で認知症カフェ開店オレンジカフェひだまり（毎月開催）。 認知症初期集中支援チームの設置。 ・2019年、認知症ガイドブック作成。 ・2021年、オレンジライトアップ開始。 ・2022年、12月チームオレンジを設置し現在も活動中。 | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・開催会場を変更。以前より広い会場で テーブルの間隔を広く取り実施。申し 込み制。参加人数の把握。体温測定・ 消毒の実施。 |   |
| チームオレ ンジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業のボランティアが認知症ステップアップサポーターとして活動中。認知機能の低下により介護予防事業に参加が難しくなった方を認知症カフェに誘う、逆にカフェから介護予防事業に誘う、一般町民として近所の認知機能低下が心配される方には散歩がてら声をかけてカフェに誘うという流れができています。新規参加者の方が参加しやすいように、町民ボランティアによるイベントを行い、誘いやすい・参加しやすいカフェを目指している。令和4年度12月より、チームオレンジとして位置づけ実施した。 | |
| 担当課名 | 福祉課 電話：0465-83-8024 | |

| | | |
|---|---|---|
| 市町村名 | 松田町 | |
| テーマ | 住民と共同で地域を支える取組みの推進 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 10,460人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 3,709人（35.4%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 2,142人（57.7%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：1 職種：社会福祉士 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：認知症になっても安心して暮らせるまちをめざして 活用方法：窓口相談時、サポーター養成講座時 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成29年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知症予防サークルに継続実施支援（3カ所）、 認知症予防・介護予防を住民主体の自主グループでの運動教室支援 |
| チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） | |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ【MATSUDA おれんぢかふゑ】を住民ボランティア団体（チームオレンジ）と共に月1回、認知症家族のつどい年4回、ボランティア現任研修年2回実施。 認知症初期集中支援チーム活動、家族介護教室（年3回）、サポーター養成講座（自治会向け） | |
| 新型コロナウ イルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大第1波時、認知症予防サークルを一時中止。自宅でも認知症予防に取り組めるよう、手紙と脳トレ課題を郵送で送付すると共に、参加者全員に電話で身体状況等の確認を実施。 新型コロナウイルス感染拡大第1波時、認知症カフェを中止とし、ボランティアが常連の参加者宛に個々で手紙（絵葉書）を書き、カフェの様子を写真にし、アルバムファイルを作成し自宅に届け、身体・精神状態の確認を実施。 再開時、「とても嬉しかった」と涙を流して喜んで下さる方が多かった。 カフェの場所も風通しの良い場所で開催をしていた。 | |
| チームオレン ジにおける工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> いつもMATSUDA おれんぢかふゑに参加している当事者の方をチームの一員として一緒にカフェを運営している。できるだけ当事者目線を大切にして運営すると共に意見を共有するようにしている。 年2回現任研修を行い、地域でできること、チームオレンジの意味を明確にしつつ、日常生活でも地域に目を配り、支え・支援できるようにしている。 サポーター養成講座を自治会向けに開催しており、認知症の症状を伝えやすいように劇も交えている。 | |
| 担当課名 | 福祉課 電話：0465-83-1226 | |

| | | |
|---------------------------------|---|------------------------------------|
| 市町村名 | 山北町 | |
| テーマ | 令和4年度の事業の継続 | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 9,440人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 4,011人（42.48%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 2,164人（53.95%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 令和2年度から 人数：1 職種：保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成30年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：全戸配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和元年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：教室の開催 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座、サポーターステップアップ講座を社協のボランティア連絡協議会会員向けに実施する予定。 ・認知症カフェを月1回開催した。（参加者は毎回10名程度） ・通いの場に参加し、認知症予防等について講話等実施した。 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | | |
| チームオレンジにおける工夫 | | |
| 担当課名 | 保険健康課 電話：0465-75-3642 | |

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| 市町村名 | 開成町 | |
| テーマ | 認知症になっても住み慣れた地域で生活できる地域づくりの取組 | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 18,634人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 4,718人（25.3%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 2,661人（56.4%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：1 職種：保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：町 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 平成27年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成28年度作成 名称：認知症ガイドブック 活用方法：講座や希望者へ配布、ホームページ掲載 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：コグニサイズ体験教室の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和5年度設置予定） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマーデーに合わせて広報へ特集記事を掲載。今年度は認知症サポート医の取材記事を掲載した。 ・サポーター養成、ステップアップ講座、高齢者等徘徊 SOS 模擬訓練（声掛け訓練）、コグニサイズ体験会を実施し認知症の普及啓発に努めた。 ・サポーター養成講座は土曜日開催にし、普段事業へ参加できない年齢層へのアプローチを行った。 ・ステップアップ講座は、VRによる認知症体験会を行った。 ・声掛け模擬訓練は、見守りや声かけのポイントの確認をし、実際に他者に声をかける演習を行った。警察署からも講師を招き徘徊発生の際の初動について、保健福祉事務所保健予防課から認知症等徘徊 SOS ネットワークについて制度説明をしていただいた。 ・コグニサイズ体験会は、町民の方と一緒に体を動かし脳と体の活性化を図った。 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・社協「ほのほのサロン」 <p>感染症拡大時期は休止していたが、令和5年1月よりサロン活動を再開。令和5年1月からは1回/週で実施している。季節のイベントや測定会、脳トレなど様々なプログラムを実施している。ボランティア養成にも注力している。</p> | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・チームオレンジ市町村伴走支援を受け、チームオレンジ立ち上げに向けて支援を受けている。 <p>令和5年度中に2チーム設置予定。</p> | |
| 担当課名 | 福祉介護課 電話：0465-84-0316 | |

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 市町村名 | 箱根町 | |
| テーマ | いつまでも住み慣れた町で暮らしていくための支援と地域づくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 10,891人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 4,156人（38.1%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 2,352人（56.6%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成29年度から 人数：2 職種：社会福祉士、介護支援専門員 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和5年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：行政機関の窓口配架 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和4年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：脳と体の若返り教室及びコグニサイズの普及 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ②設置済み（令和5年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座： <ul style="list-style-type: none"> ①毎月1回町立施設にて定期開催 ②サロンや民間企業の希望に応じて出張講座を実施 ③町職員対象に開催予定 ④中学生対象に開催予定 ・アルツハイマー月間にあわせ、認知症に関する記事を「回覧まちだより」に掲載 ・認知症をにんちしよう会の活動の一環として、「2023健康・福祉フェスティバル」において普及啓発のブース及び個別相談を実施 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジリングの制作をチームオレンジに委託 ・認知症マフの制作をチームオレンジに委託（活用方法は検討中） ・チームオレンジが運営するオレンジカフェを新規開催予定（毎月第2木曜日） ・既存のサロン活動等の取組を活かし、チームオレンジとしての要素を加えて活動していく方法を検討 | |
| 担当課名 | 福祉課 電話：0460-85-7790（直通） | |

| | | |
|---|---|---|
| 市町村名 | 真鶴町 | |
| テーマ | 地域で認知症の方を見守り・支えられる町づくり | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 6,719人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 3,013人（44.8%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 1,753人（58.2%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：1 職種：保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：認知症安心ガイド 活用方法：公共機関等配架 |
| | 認知症カフェ開設 | 令和5年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知症予防教室実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和7年度設置予定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェの開設 地域サロンを活用しオレンジカフェを開設した。今後も専門家が直接会場に出向き、医療や介護について専門的な部分の相談ができるよう体制を整えていく。 ・サポーター養成講座の開催 平成25年から中学校と連携し授業の一環として取り入れて行っている。今後は、町全体で見守り体制が取れるよう幅広い年代での開催を行っていく。（配食ボランティアの講習や職員での研修など） | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防教室においては、参加者同士の適度な間隔が取れるよう地区を2つのグループに分けて1回の参加人数を制限して実施していた。 | |
| チームオレンジ における工 夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の設置に向けて関係機関と連携を図りながら進めていく。 | |
| 担当課名 | 健康長寿課 電話：0465-68-1131 | |

| | | |
|---------------------------------|---|---|
| 市町村名 | 湯河原町 | |
| テーマ | 認知症の方とその家族の方を支える地域づくり | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 23,500人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 10,040人（42.72%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 5,953人（59.29%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：5 職種：介護支援専門員、看護師、介護施設職員 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 令和4年度作成 名称：認知症安心ガイド (改訂版 令和5年度作成予定) 活用方法：役場窓口、医療機関、協力機関等で配布 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和4年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：頭の体操教室（ものわすれ予防）、iPadを使った脳若トレーニング、公園体操（コグニサイズ）の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（令和6年度設置予定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム員会議の開催（西湘地域一市三町（小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町）の広域で実施） ・ゆがわら・まなづる家族会を2か月に1回開催。介護者同士の交流や医療・介護の専門職との情報交換の場として活用 ・認知症をにんちしよう会（西湘地域一市三町の行政、地域包括、医療関係者、介護関係者からなる会）により、認知症啓発フォーラムやイベントを実施 ・一市三町若年性認知症を考える会（西湘地域一市三町の行政、県、認知症疾患医療センター、医療関係者からなる会）により、主に若年性認知症患者の当事者、家族、関係者の情報交換の場としてフレンドシップカフェ、医療・介護関係者のための意見交換会、体験談集の作成を実施 ・サポーター養成講座の開催及びメイト講師派遣、ステップアップ講座開催 ・令和4年度に生活支援コーディネーターを中心に認知症カフェの立ち上げを支援 ・今年度は6回認知症カフェを開催 ・今年度は、中学生へのサポーター養成講座を実施 ・世界アルツハイマーデーに合わせ、町広報誌、ホームページ、駅前大型電光掲示板等での周知、図書館での認知症啓発コーナーの設置により、啓発活動を実施 ・成年後見制度利用支援、ひとり暮らし高齢者等・認知症等行方不明SOSネットワーク登録推進 ・頭の体操教室（ものわすれ予防）、iPadを使った脳若トレーニング、公園体操（コグニサイズ）などの介護予防事業の実施 | |

| | |
|------------------------------------|--|
| <p>新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組</p> | <p>・ZOOM を利用した会議の実施</p> |
| <p>チームオンラインにおける工夫</p> | |
| <p>担当課名</p> | <p>介護課 電話：0465-63-2111（内線：344・345）</p> |

| | | |
|---|--|--|
| 市町村名 | 愛川町 | |
| テーマ | いつまでも住み慣れた地域で自分らしく | |
| 自治体の 情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 39,494人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 12,419人（31.4%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 6,476人（52.1%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：2 職種：保健師1、事務職1 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 無 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：認知症あんしんガイド 活用方法：相談初期の説明用に使用、窓口に配架 |
| | 認知症カフェの開設 | 平成30年度から開設 カフェ数：2 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知症予防教室（コグニサイズプログラム） |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | 未設置（設置予定 未定） |
| 認知症に係る 主な取組（推 進員活動含 む） | <ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマーデーの周知記事の掲載 ・認知症に関する正しい知識の普及（学校の授業の一環として愛川高校でサポーター養成講座を実施） | |
| 新型コロナウイルス感染症 拡大の中で工 夫した特徴的 な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な感染症対策をしたうえで、カフェの運営を実施 | |
| チームオレンジ における工 夫 | | |
| 担当課名 | 高齢介護課 電話：046-285-6938 | |

| | | |
|-----------------------------|---|---|
| 市町村名 | 清川村 | |
| テーマ | 認知症について村民の誰もが正しい知識を持ち、早期に相談できる体制・地域で支える関係づくり | |
| 自治体の情報 | 人口（令和5年12月1日現在） | 2,767人 |
| | 65歳以上人口（高齢化率） | 1,062人（38.4%） |
| | 75歳以上人口（高齢者に占める割合） | 541人（51.0%） |
| | 認知症地域支援推進員の配置 | 平成27年度から 人数：1 職種：保健師 |
| | 認知症初期集中支援推進事業の実施状況 | チーム数：1 設置場所：地域包括 |
| | 認知症サポーターステップアップ研修の実施 | 令和4年度から実施 |
| | ケアパスの作成・活用方法 | 平成29年度作成 名称：清川村認知症あんしんガイドブック 活用方法：相談初期の説明用に使用 |
| | 認知症カフェの開設 | 令和3年度から開設 カフェ数：1 |
| | 認知症予防の取組 | 取組内容：認知機能向上教室（一般介護予防事業）の実施 |
| | チームオレンジの取組【別紙2参照】 | ①設置済み（令和4年度から） ②設置済み（令和4年度から） |
| 認知症に係る主な取組（推進員活動含む） | <ul style="list-style-type: none"> ・社協と連携をとりながら、住民主体による住民活動（見守り、お茶飲み、体操、散歩等のサロン活動）の支援、サポーター養成講座を実施。支援の必要な方の早期対応に努めている。 ・独居・高齢者世帯への配食サービスによる地域の見守りの実施 ・75歳以上の独居高齢者の訪問等による把握 ・引きこもり・軽度認知症の方などに対する通所型サービスAの実施 ・認知機能向上教室（一般介護予防事業）の実施 ・徘徊高齢者に対する「おでかけ安心キーホルダー」の配布 ・高齢者等徘徊位置検知システム機器等購入費助成 ・「包括だより」や、村広報紙に認知症の正しい知識を掲載 ・世界アルツハイマー月間の9月に図書館内で、認知症について啓発事業の実施 ・介護家族交流会（認知症の方の家族も含む）の実施 ・村主催の認知症カフェの実施 | |
| 新型コロナウイルス感染症拡大の中で工夫した特徴的な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能向上教室（一般介護予防事業）において、感染予防の対策を行いながら実施。 ・基本的な感染症対策を行いながら、認知症カフェの実施。 | |
| チームオレンジにおける工夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人会や婦人会など、既存の活動を活かしてチームオレンジとしても継続できるようにした。 | |
| 担当課名 | 子育て健康福祉課 電話：046-288-3861（直通） | |

3 各保健福祉事務所・センターにおける認知症の取組

| | |
|----------|---|
| 保健福祉事務所名 | 平塚保健福祉事務所 |
| 管轄市町村 | 平塚市、二宮町、大磯町 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師によるもの忘れ・認知症相談を月1回実施した。 ・世界アルツハイマーデー月間にあわせ、平塚合同庁舎ならびに平塚保健福祉事務所にて、認知症に関する展示を実施し、普及啓発を行った。 ・平塚市と協力し、認知症カフェ運営団体の交流会を開催。参加者の日々の活動へ有益な情報を提供するための講義と参加者同士が情報交換と横のつながりを深めていただけるようグループワークを実施した。 ・認知症普及啓発事業として、市民公開講座開催（平塚市共催）。 ・認知症普及啓発事業として、令和5年度FM湘南ナパサ「健康福祉ふれあい広場」（第4四半期）にて若年性認知症について情報提供（告知）。 ・認知症従事者研修として、若年性認知症をテーマに認知症従事者研修を開催（平塚市、大磯町、二宮町共催）。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・管内における若年性認知症支援の取り組みへむけ、若年性認知症の現状の実態調査をはじめ、具体的な取り組み計画と、管内市町との今後の連携について検討していきたい。 ・若年性認知症に関する取り組みとして、職域等を対象に含めた認知症従事者研修を継続していきたい。 ・認知症カフェ運営団体交流会について、参加者に好評で、定例開催希望の声もあり、今後も継続開催していきたい。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0463-32-0130（代） |

| | |
|----------|---|
| 保健福祉事務所名 | 平塚保健福祉事務所秦野センター |
| 管轄市町村 | 秦野市、伊勢原市 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ相談を月1回開催し、来所または訪問で実施、本人、家族、支援者への相談に応じた。 ・専門職派遣事業として、認知症を持つ方の支援に関わる介護支援専門員等を対象にした研修を共催で実施した。 ・認知症の方とその家族が住みなれた地域で暮らし続けられるよう、若年性認知症をテーマとした講演会を開催した。また、管内の関係機関の連携体制の強化に向けて、若年性認知症患者支援をテーマとした事例検討会を開催した。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方とその家族が住みなれた地域で暮らし続けられるよう、引き続き管内市と共に取組んでいきたい。若年性認知症患者の支援については、関係機関の連携体制強化に向けて引き続き研修や事例検討等を行っていきたい。また、本人や家族のつどいを企画していきたい。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0463-82-1428 |

| | |
|----------|--|
| 保健福祉事務所名 | 鎌倉保健福祉事務所 |
| 管轄市町村 | 鎌倉市、逗子市、葉山町 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師によるもの忘れ・認知症相談を年 6 回来所または訪問で実施し、本人や家族、支援者への相談に対応した。 ・管内市町の認知症施策担当課、認知症疾患医療センター、若年性認知症支援コーディネーター、県高齢福祉課と担当者会議を開催し、管内認知症施策事業の円滑な実施に向けて情報交換等を行った。 ・若年性認知症支援についての周知啓発を、管内市町の民生委員、地域・職域ネットワーク等に向けて行った。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症支援についての周知啓発を、地域・職域ネットワークの協力のもと進めていく。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0467-24-3900 |

| | |
|----------|---|
| 保健福祉事務所名 | 鎌倉保健福祉事務所三崎センター |
| 管轄市町村 | 三浦市 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師による精神保健相談（もの忘れ・認知症相談含む）を実施している。また、認知症患者を介護する家族等を支援するため、認知症疾患相談・訪問事業を実施している。 ・昨年度より、若年性認知症に関する対策会議として、若年性認知症コーディネーターや地域包括（推進員）、管内市担当者と「認知症施策ネットワーク会議」を開催し、現状把握や課題の共通認識を行ってきた。今年度は、オレンジ大使（当事者講師）による従事者研修会を開催した。 ・家族会が主催する「家族交流会・研修会」を後援した。また、管内の地域包括が主催する家族会や認知症カフェに参加している。 ・管内市や警察による SOS ネットワークの担当者会議に出席し、ネットワークの取組内容や現状についての情報共有を行った。SOS ネットワーク事業についての普及啓発の必要性が課題にあがり、今年度はケアマネージャーを対象にした「認知症研修」を開催し、普及に努めた。 ・依頼のある事業所等に出向き「認知症について」をテーマとした出前講座を実施し、認知症への理解推進とコグニサイズの普及にも取り組んでいる。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記の取り組みを継続実施していく。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：046-882-6811 |

| | |
|----------|--|
| 保健福祉事務所名 | 小田原保健福祉事務所 |
| 管轄市町村 | 小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症について、保健師等が電話・来所・家庭訪問にて随時相談を実施しているほか、月1回精神科医による定例相談（予約制）を実施している。ご家族や関係機関等支援者からの相談も可能 ・市町や関係機関で「小田原・箱根・真鶴・湯河原の一市三町若年性認知症を考える会」を協働で運営し、若年性認知症本人やその家族等を対象とした講演会や交流会、関係機関を対象とした意見交換会などを定期的開催 ・また、市町や関係機関で設置している「認知症をにんちしよう会」では普及啓発活動として年2回の認知症フォーラム・イベントを開催 ・世界アルツハイマーデーに併せて合同庁舎内でポスター掲示、パンフレット等の配架し普及啓発を実施 ・サポーター養成講座を随時対応 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記取組を継続 ・若年性認知症の普及啓発活動として、職域等と連携し講演会等の開催を検討 ・認知症等担当者会議の開催 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0465-32-8000 |

| | |
|----------|--|
| 保健福祉事務所名 | 小田原保健福祉事務所足柄上センター |
| 管轄市町村 | 南足柄市、中井町、松田町、山北町、大井町、開成町 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・管内の小中学校から依頼がありサポーター養成講座を実施した。クイズやロールプレイング、コグニサイズを通して認知症について楽しく学ぶことができた。今後も要望があれば積極的に講座を開催していきたい。 ・足柄上合同庁舎職員を対象にサポーター養成講座を実施した。若年性認知症の当事者のDVDを観ることで、認知症に対するイメージが変わったという意見や、認知症の家族への関わり方等について振り返ることができたという感想があった。 ・管内市町、警察と認知症施策担当者会議やSOSネットワーク運営委員会を開催した。現在の認知症事業の実施状況や課題、SOSの要領改訂について意見交換を行った。 ・年6回定例相談を実施。毎回2～3組の依頼があり、必要時医療機関へ繋げている。 ・保健師による随時相談も実施している。 ・2024年2月、支援者を対象に若年性認知症の方とその家族への支援をテーマにした講演会を実施。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・上記の取組を継続。 ・認知症担当者会議及びSOSネットワーク運営委員会を合同で開催予定。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0465-83-5111 |

| | |
|----------|--|
| 保健福祉事務所名 | 厚木保健福祉事務所 |
| 管轄市町村 | 厚木市、海老名市、座間市、愛川町、清川村 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医師による精神保健相談（もの忘れ・認知症相談含む）を実施している。ご家族・関係者のみの相談も可能。 ・管内市町村、警察、保護協力施設に出席いただき、認知症行方不明 SOS ネットワークの担当者会議を開催し、ネットワークの取組内容や現状についての情報共有を行っている。 ・サポーター養成講座を実施している。 ・認知症の精神療法に関する講演会を実施している。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症に関する支援を実施していく。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：046-224-1111 |

| | |
|----------|---|
| 保健福祉事務所名 | 厚木保健福祉事務所 大和センター |
| 管轄市町村 | 大和市、綾瀬市 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・管内の介護保険関係施設職員、地域包括職員、行政職員等を対象に、認知症行動心理症状（BPSD）と家族支援について、講師を招いて講義を行った。患者本人や家族への対応方法に悩む支援者に対して、どのような支援が適切なものか、考え方の方向性を見出し、具体的な対応方法まで伝えることができ、支援者のスキルアップ向上につながる研修となった。 ・企業において、認知症の予防と共生として、認知症疾患医療センターの医師より講義と、若年性認知症当事者からの講演を開催した。参加者は 30～50 代の世代が多く、親の介護を見据えていた方もおり、今後に必要な認知症の備えを学ぶ機会となった。講演したオレンジ大使は参加者と同世代であり、親近感を持って興味ある講演となった。 ・管内市、地域包括、警察による SOS ネットワークの担当者会議を開催し、ネットワークの取組内容や現状についての情報共有を行った。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症行動心理症状（BPSD）において、家族支援者が一人で抱え込まず、疲弊しないための研修を今後も継続していきたい。 ・若年性認知症についての研修会は、参加者から好評であったため、今後も継続していく予定である。 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：046-261-2948 |

| | |
|----------|--|
| 保健福祉事務所名 | 茅ヶ崎市保健所 |
| 管轄市町村 | 茅ヶ崎市、寒川町 |
| 主な取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症の定例事業として、本人ミーティングを毎月1回実施している。また、家族会である「うみの会」は自主グループとして年4回、本人ミーティングの同日に開催しており、保健所は事務や会場予約等のサポートを行っている。 ・市、町で開催される認知症初期集中支援チーム員会議に出席し、初期集中支援チームとの連携・協力を行っている。 ・市の高齢福祉課と共催で開催した「ちがさきオレンジDay」において、若年性認知症の当事者の講演会を行った。 ・若年性認知症支援者研修を年1回実施。今年度は湘南東部総合病院認知症疾患医療センターの若年性認知症支援コーディネーターとの共催で研修会を実施予定である。 |
| 今後の取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人ミーティングを月に1回実施。うみの会についても継続して支援を行っていく。 ・若年性認知症支援者研修の開催 |
| 担当課名 | 保健予防課 電話：0467-38-3315 |

4 認知症地域支援推進員研修及び県内配置状況

(1) 研修の目的

認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援を行うことが重要である。

各市町村における認知症の人への支援体制を構築していくための担い手となる「認知症地域支援推進員」は、自らの市町村における支援員としての役割や具体的な活動を考え、また、設置する市町村や保健福祉事務所は、「認知症地域支援推進員」に対する支援のあり方を考える機会とする。

令和元年度からは、経験に応じた内容とするため、新任者・現任者に分けて研修を実施している。

(2) 研修内容・プログラム

○新任者研修：令和5年6月28日（水）オンライン開催

| 時間 | 内容及び講師 |
|-------------|--|
| 9:30～11:30 | ○講義 「国の認知症施策の方向性と現状、推進員の位置づけと役割の理解」 （認知症介護研究・研修東京センター） 「神奈川県認知症施策について」 （県高齢福祉課） 「若年性認知症についての理解と支援」 （湘南東部総合病院 若年性認知症支援コーディネーター） |
| 11:30～12:00 | ○グループワーク① |
| 13:00～13:30 | ○事例発表（清川村保健福祉課介護保険係） |
| 13:30～14:00 | ○かながわオレンジ大使・支援者による講演 |
| 14:10～15:40 | ○グループワーク② |
| 15:50～16:30 | ○発表 |
| 16:30～17:00 | ○講評 ○事務連絡 |

○現任者研修：令和6年3月8日（金）オンライン開催

| 時間 | 内容及び講師 |
|-------------|--|
| 9:30~11:30 | ○講義 「国の認知症施策の方向性と現状、推進員の位置づけと役割の理解」 （認知症介護研究・研修東京センター） 「神奈川県認知症施策について」 （県高齢福祉課） ○事例発表（大和市福田南地域包括支援センター） |
| 11:30~12:00 | ○グループワーク① |
| 13:00~13:30 | ○かながわオレンジ大使による講演 |
| 13:30~14:00 | ○講義 「若年性認知症についての理解と支援」 （曽我病院 若年性認知症支援コーディネーター） |
| 14:10~15:40 | ○グループワーク② |
| 15:50~16:30 | ○発表 |
| 16:30~17:00 | ○講評 ○事務連絡 |

(3) 推進員配置状況（累計）

（年度）

| 区分 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 配置市町村数 | 2 | 3 | 5 | 25 | 22 | 31 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 | 33 |
| 配置人数 | 2 | 3 | 5 | 37 | 66 | 108 | 126 | 132 | 146 | 188 | 211 | 218 |

※配置状況は各年度4月現在の数値

65歳未満の方のご相談はこちらへ

若年性認知症支援コーディネーター

認知症は65歳未満の若い人が発症することもあり、それを「若年性認知症」といいます。若年性認知症支援コーディネーターは、受診のことから就労継続、福祉サービスの利用支援など、患者さんやご家族からのご相談の受付や、支援に携わるネットワークの調整などを行っています。

●国立病院機構久里浜医療センター
046-848-1550 (代表)
月～金曜 8:30～17:15 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横須賀・三浦

●横浜ほうゆう病院
(地域医療連携室 若年相談窓口)
045-360-8787 (代表)
月～金曜 9:30～15:30 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●湘南東部総合病院
0467-83-9111 (代表)
0467-83-9091 (医療社会サービス部)
月～金曜 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 湘南東部、県央

●横浜総合病院
(若年性認知症相談窓口)
045-903-7106 (直通)
月～金曜 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●曽我病院 (福祉医療相談室)
0465-42-1630 (代表)
月～金曜 9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 相模原、湘南西部、県西

●横浜市立大学附属病院
認知症疾患医療センター
045-787-2852 (直通)
月～金曜 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●横浜市総合保健医療センター診療所
(総合相談室)
045-475-0105 (直通)
月～金曜 9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 横浜

●川崎市若年性認知症サポートデスク
NPO法人 マイWay
044-400-7060 (直通)
月～金曜 9:00～16:00 (祝日、年末年始を除く)
担当エリア: 川崎

若年性認知症コールセンター

厚生労働省が認知症介護研究・研修大府センターに委託して、若年性認知症に関するご相談を受け付けています。

0800-100-2707 月～土曜 10:00～15:00 (祝日、年末年始を除く)

認知症の人とご家族をみんなで支えるマークです

神奈川県では、認知症施策の普及啓発を推進するため、認知症の人、家族などの意見を踏まえて、独自に「認知症の人と家族を支えるマーク」を作成し、市町村・団体等と協力して、このマークを活用した取り組みを行っています。

- 全体の形は認知症の頭文字「N」をデフォルメしました。ハートは温かな心づかいを表しています。
- デザインには、記憶が欠けてしまうことで、認知症の方が感じる不安や疎外感を埋める、パズルのピースになれるようにとの想いが込められています。



認知症のあれこれ



認知症全般に関することや介護の悩みなどを、介護の経験者を中心としたスタッフがご相談に応じます。ご家族等を介護しているケアラーの皆様もお気軽にご相談ください。

かながわ認知症コールセンター

公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部

045-755-7031 ※令和5年10月1日から変わります!

月・水曜 10:00～20:00 土曜 10:00～16:00 (年末年始を除く)

(9月末まではこちらにおかけください) 0570-0-78674



よこはま認知症コールセンター

公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部

045-662-7833 (なやみさよなら)

火・木・金曜 10:00～16:00 (年末年始を除く)

川崎市認知症コールセンター「サポートほっと」

NPO法人 川崎市認知症ピアサポートセンター

0570-04-0104

月・火・木・金曜及び第1・第3日曜 10:00～16:00 第2・第4木曜 10:00～20:00 (祝日、年末年始を除く)

お住まいの地域にも
相談窓口があります

地域包括支援センター

市区町村の高齢福祉主管課や保健福祉事務所
保健所までどうぞ。

詳しくは [かながわ認知症ポータルサイト](#)

検索

神奈川県内の認知症疾患医療センター

治療の内容や医療に関する情報などについての「専門医療相談窓口」です。
患者さんご自身、ご家族、医師、保健医療・福祉関係者などを対象に、
専門スタッフが電話や面接によるご相談に応じています。

※受診してなくても、相談することができます。

専門スタッフがお聞きします

<神奈川県 認知症疾患医療センター>

① 東海大学医学部付属病院
総合相談室

伊勢原市下糟屋143
0463-93-1121 (代表)
月～金曜 9:00～15:00
第1・3・5土曜 9:00～12:00
(祝日、年末年始を除く)

② 国立病院機構
久里浜医療センター
医療福祉相談室

横須賀市野比5-3-1
046-848-1550 (代表)
月～金曜 8:30～17:15
(祝日、年末年始を除く)

③ 曽我病院
福祉医療相談室

小田原市曽我岸148
0465-42-1630 (代表)
月～金曜 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

④ 湘南東部総合病院
医療社会サービス部

茅ヶ崎市西久保500
0467-83-9111 (代表)
0467-83-9091 (直通)
月～土曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑤ 厚木佐藤病院
医療サービス課

厚木市小野759
046-247-1211 (代表)
046-258-6663 (直通)
月・火・木・金・土曜 9:30～16:00
(祝日、年末年始を除く)

⑥ メモリーケアクリニック湘南

平塚市四之宮5-20-4
0463-51-1102 (代表)
月～金曜 9:30～17:00
土曜 9:30～12:30 (祝日、年末年始を除く)

⑦ メンタルホスピタルかまくら山

鎌倉市鎌倉山1-23-1
0467-32-2550 (代表)
月～金曜 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

⑧ たなかクリニック

大和市桜森3-7-18
046-200-3322 (代表)
月～金曜 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

⑨ 藤沢病院
地域医療連携室

藤沢市小塚383
0466-23-2343 (代表)
0466-53-9044 (直通)
月～金曜 10:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

⑩ えびな脳神経クリニック

海老名市めぐみ町3-1
VINA GARDENS PERCH 601-12
046-236-2188 (代表)
月～金曜 9:00～18:00
(祝日、年末年始を除く)

ひとりで悩まず
お電話ください



<横浜市 認知症疾患医療センター>

⑪ 横浜市立大学附属病院
認知症疾患医療センター

横浜市金沢区福浦3-9
045-787-2852 (直通)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑫ 済生会横浜市東部病院
療養福祉相談室

横浜市鶴見区下末吉3-6-1
045-576-3000 (代表)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑬ 横浜舞岡病院
医療相談室

横浜市戸塚区舞岡町3482
045-822-2169 (直通)
月～土曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑭ 横浜市
総合保健医療センター
診療所総合相談室

横浜市港北区鳥山町1735
045-475-0103 (直通)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑮ 横浜市立みなと赤十字病院
認知症疾患医療センター

横浜市中区新山下3-12-1
045-628-6761 (直通)
月～金曜 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

⑯ 横浜ほうゆう病院
地域医療連携室

横浜市旭区金が谷644-1
045-360-8787 (代表)
月～土曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑰ 横浜総合病院
地域医療総合支援センター

横浜市青葉区鉄町2201-5
045-903-7106 (直通)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑱ 横浜栄共済病院
患者サポートセンター

横浜市栄区桂町132
045-891-2171 (代表)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

⑲ 横浜相原病院
認知症疾患医療センター

横浜市瀬谷区阿久和南2-3-12
045-489-7600 (直通)
月～金曜 9:00～17:00
(祝日、年末年始を除く)

<川崎市 認知症疾患医療センター>

⑳ 川崎市立川崎病院
認知症疾患医療センター

川崎市川崎区新川通12-1
044-233-5521 (代表)
月～金曜 8:30～17:00
(祝日、年末年始を除く)

㉑ 日本医科大学武蔵小杉病院
街ぐるみ認知症相談センター

川崎市中区小杉町1-383
044-733-2007 (直通)
月～金曜 9:00～16:00
(祝日、年末年始を除く)

㉒ 聖マリアンナ医科大学病院
認知症(老年精神疾患)治療
研究センター

川崎市宮前区菅生2-16-1
044-977-6467 (直通)
月～金曜 9:30～16:30
(祝日、年末年始を除く)

㉓ かわさき記念病院
認知症疾患医療センター

川崎市宮前区潮見台20-1
044-977-3100 (直通)
月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00
(祝日、年末年始を除く)

<相模原市 認知症疾患医療センター>
㉔ 北里大学病院
トータルサポートセンター

相模原市南区北里1-15-1
042-778-8229 (直通)
月～金曜 9:30～16:30
(祝日、年末年始を除く)

㉕ 総合相模更生病院

相模原市中央区小山3429
042-752-1810 (直通)
月～金曜 9:30～16:30
(祝日、年末年始を除く)



認知症オレンジパートナーネットワークウェブサイト

神奈川県では、認知症サポーター等の個人の支援者、地域の支援団体、認知症カフェ等の活動拠点、企業や行政等が連携し、認知症の方やそのご家族が地域で安心して暮らしていくための支援を行う「認知症オレンジパートナーネットワーク」のウェブサイトを開設しています。

若年性認知症の方は、新たな就労先や様々な活動の場を探すことができます。

こんなことができます！

若年性認知症の方

- ・新たな就労先を探す。
- ・様々な活動の場を探す。

個人の支援者

- ・ボランティア活動に申込み。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

地域の支援団体、活動拠点、企業、行政等

- ・若年性認知症の方へ向けた、就労支援、活動場所に係る募集情報を掲載する。
- ・ボランティア活動等の募集情報を掲載する。
- ・県の施策や認知症に関する情報等を受け取る。

オレンジパートナーネットワークウェブサイトを開設しています！



こんなことができます！

若年性認知症の方の就労先を探したい！

ボランティア活動をする場所を探したい！

色々な人と意見交換をしたい！



かがやきネットワークと認知症のひとと家族を支えるマップ



認知症オレンジパートナーネットワーク ウェブサイト
<https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/1393/orangepartner/index.html>



神奈川県
認知症のひとと
家族を支えるマーク



ともに生きる社会
かながわ連立

～認知症と暮らすひとへの支援～
 ～認知症のひとと家族への支援～
 ～認知症のひとと家族への支援～
 ～認知症のひとと家族への支援～

ともに生きる

お問合せ

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ

電話

045-210-4846 (直通)

もしかして

若年性認知症??

記憶に不安を感じたら



若年性認知症とは

「若年性認知症」とは、65歳未満で発症した認知症のことです。若年性認知症の方は仕事、家事、子育て世代に発症することが多く、現役で働いている場合、若年性認知症を理由に退職してしまうと、経済的に困ってしまいます。しかし、退職前に若年性認知症支援コーディネーターに相談することで、仕事を継続できる可能性があります。

神奈川県の取組

神奈川県では、若年性認知症の人やその家族等の相談に対応し、支援に携わる者同士のネットワークの調整を行う、若年性認知症支援コーディネーターを配置しています。ご本人やご家族等からの若年性認知症に関する困り事や悩み事等の相談に対して、解決に向けた支援をします。

神奈川県内の若年性認知症支援コーディネーター相談先

※受診していなくても、相談することができます。

| 名称 | 担当エリア | 電話番号 |
|-------------------------|-------------|---|
| 国立病院機構久里浜医療センター | 横須賀・三浦 | 046-848-1550 (代表) |
| 曾我病院 (福祉医療相談室) | 相模原、湘南西部、県西 | 0465-42-1630 (代表) |
| 湘南東部総合病院 | 湘南東部、県央 | 0467-83-9111 (代表) 0467-83-9091 (医療社会サービス部) |
| 横浜ほうゆう病院 地域医療連携室 若年相談窓口 | 横浜 | 045-360-8787 (代表) |
| 横浜市立大学附属病院 認知症疾患医療センター | 横浜 | 045-787-2852 (直通) |
| 横浜市総合保健医療センター診療所 総合相談室 | 横浜 | 045-475-0105 (直通) |
| 横浜総合病院 若年性認知症相談窓口 | 横浜 | 045-903-7106 (直通) |
| 川崎市若年性認知症サポートデスク | 川崎 | 044-400-7060 (直通) |

若年性認知症支援コーディネーターの連絡先等詳細はこちら

神奈川県HP認知症の相談窓口



若年性認知症支援コーディネーターが様々な支援につなげます



雇用期間中（気づき、雇用継続が可能な時）

認知症を疑ったら・・・

まずは若年性認知症支援コーディネーターへ

- 医療機関受診
 - ・認知症サポート医
 - ・かかりつけ医
 - ・認知症疾患医療センター



- 相談窓口
 - ・若年性認知症支援コーディネーター
 - ・認知症コールセンター
 - ・認知症初期集中支援チーム
 - ・地域包括支援センター

受診をしていなくても、ご自身で不安を感じた時いつでも気軽に相談できます！



曽我病院
若年性認知症支援
コーディネーター

診断を受けたら・・・

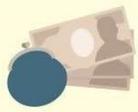
今の仕事を継続したい！

- 就労継続を支援
 - ・障害者手帳
(身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳)



休業中の収入を補填したい！

- 経済的支援
 - ・自立支援医療 ・傷病手当金
 - ・障害年金 ・高額療養費
 - ・高額介護サービス費
 - ・高額医療・高額介護合算療養費制度



- 生活支援
 - ・日常生活自立支援事業
 - ・成年後見制度
 - ・学資支援等

退職後（収入減への対応、次の活躍場所）

元の職場を退職したら・・・

残っている支払いが不安・・・

- ・雇用保険 ・健康保険の加入
- ・年金保険料の免除
- ・住宅ローン ・生命保険



自分に合った仕事を探したい

- ・ハローワーク
- ・地域障害者職業センター
- ・障害者就業・生活支援センター



気軽に通える場所が欲しい

- 活躍できる場所
 - <障害者総合支援>
 - ・就労継続支援A・B型
 - ・行動援護等

- <介護保険サービス>
- ・デイサービス・デイケア
- ・ショートステイ
- ・施設入所



- <その他、インフォーマルサービス>
- ・家族（交流）会
- ・認知症カフェ・サロン



湘南東部総合病院
若年性認知症支援
コーディネーター

まずは若年性認知症支援コーディネーターに連絡しましょう
表紙の連絡先へ！



各種支援の詳細はこちらから

症状が進行してからも相談してください。状況に応じて丁寧に支援の提案をします。

会社など職場の方へ

次のような異変があるときは、若年性認知症の可能性がります。

- 作業に手間取ったりミスが目立つようになる。
- 指示されたことが理解できなくなる。
- お金の計算や漢字の読み方がわからなくなる。
- 身だしなみに無頓着になる。

一緒に働いている方の変化に気づいたら、相談してください！

職場の方でも若年性認知症支援コーディネーターに相談いただけます。

ご本人のためにも、職場のためにもまずはご連絡を！



久里浜医療センター
若年性認知症支援
コーディネーター

グループ
GrASP株式会社（横浜市）

GRASP aoba横浜北部、GRASP asahi横浜中西部

事業形態 2単位型認知症対応型通所介護

事業内容 コンセプトは、どのような容態であっても連続した切れ目のないサービス。

- ワーク：『シゴト』を通して社会貢献の機会を創出。
- エンジョイ：『イベント』を通して社会参加の機会を創出。
- ペーシック：『クラシ』を通して能力発揮の機会を創出。

● 利用者の声

当事者：仲間がいますし、生活のメリハリができて生活リズムが整うので利用しています。

● 若年性認知症の人・ご家族のみなさまへのメッセージ

弊社は若年性認知症の人とご家族、地域サポーター、そしてスタッフが、活躍の場、安心・安全の環境、コミュニティ等を共創しています。喜怒哀楽を仲間と共有しながら、愉快で豊かな日々をともに過ごしませんか。『ひとりじゃない』GRASPにはあなたを理解する方が、笑顔で迎えますから。



若年性認知症の方を支援している事業所

NPO法人シニアライフセラビー研究所（藤沢市） パン遊房亀吉、ボランティアステーション亀吉等

事業形態 就労継続支援B型、就労移行支援、地域密着型通所介護、共生型生活介護

事業内容 天然酵母・国産小麦を使い、ふるさと納税サイトのパン部門1位を獲得したパン工房や、できる人ができるときに、できることを行う働く場やボランティア活動の場があります。



● かながわオレンジ大使（認知症本人大使）からメッセージ

かながわオレンジ大使の望月省吾（通称：もっち）です。62歳で若年性認知症（アルツハイマー型）と診断されて、現在79歳（令和5年3月時点）認知症17年のベテランです。毎週木曜日に亀吉でマンドリン演奏のボランティアをしています。好きなマンドリンを演奏して、みなさんに喜んでもらえる。こんな幸せなことはありません。認知症なんて関係ありません。少しでも前を向くことを努力しましょう。私は100歳まで、この活動を続けたいと思います。

NPO法人マイWay（川崎市） マイWayサードプレイス

事業形態 就労継続支援B型、地域生活支援事業（日中一時支援）

事業内容 若年性認知症の方が、地域とのつながりの中で“はたらく、役割を持てる場”です。就労継続支援B型に加え、地域生活支援事業（日中一時支援）を開設することで移動支援も可能になりました。認知症とともに生きる方の「サードプレイス＝自宅でも会社でもない、第3の居場所」として、これからも一緒に歩いていきます。



● メンバーさんからの声

認知症になってもわたしはわたし。やりたいことを、これからもやり続けたい。マイWayでの活動は自分を必要とされている。一緒に頑張れる仲間がいるって嬉しい。いろいろな人と出会うことで一緒に歩いていきたいな。外へ出ることの緊張感は大切だと思う。仕事を通じて自分たちのできる範囲で社会に貢献している。今充実しています！！

令和5年度
神奈川県認知症施策活動事例集
～認知症地域支援推進員の活動支援のために～

令和6年4月

編集 神奈川県福祉子どもみらい局福祉部

高齢福祉課高齢福祉グループ

電話：045-210-4846

